

武蔵野市百年史  
続編

記述編

題字

武蔵野市長  
邑上  
守正

## 発刊のことば

本市は、平成元年に武蔵野村誕生（明治二二年）から一〇〇年を迎えたことを記念して、明治二二年から昭和五八年までの武蔵野地域の歴史や武蔵野市の動きを『武蔵野市百年史』（記述編四分冊）としてまとめ、平成一〇年から平成一四年にかけて発刊してまいりました。

本書は、その統編として、昭和五八年から平成一七年までの土屋正忠市長の在任期間中の本市の動きを取りまとめたものです。

この期間の初期は、日本経済が景気後退から脱却し回復へと始動した時期でしたが、本市においては、市職員の高額退職金問題が市長選挙を通じてクローズアップされ、退職金は正を第一歩として、行財政改革が進められました。また、芸能劇場、市民文化会館、総合体育館などの大型施設が整備され、市庁舎に隣接した場所ではクリーンセンターが稼働しました。長年の課題であった吉祥寺駅北口駅前広場の完成もこの時期です。

平成に入ると、市民施設の整備は一段落し、吉祥寺駅周辺が全国ワーストワンであった放置自転車対策や、本来警察の権限である違法駐車を取り締まりに、市が指導、啓発という形で取り組んだり、国や東京都の基準や慣行の枠組みを超えて、ムーバスの運行や都市型小規模特別養護老人ホーム「ゆとりえ」の整備がされました。

また、地域コミュニティが地域の課題を自ら解決していく能動的な機能が改めて問われ始め、市民安全パトロール隊や市民が管理運営に参加する公園づくりが始まるなど、市民との協働による新たな事業が発見しました。

このような市政の歩みを、資料や記憶が鮮明なうちに記録に残すことにより、今後の市政運営に資するとともに、既刊の『武蔵野市百年史』も含め、広く市民の皆様にも活用いただきたいと考えております。

本市においては現在、これも長年の課題であったJR中央線連続立体交差事業の鉄道高架化が実現し、境地域の南北が一つにつながり、本年七月には武蔵野プレイスもオープンします。また、クリンセンターの建て替え計画は、施設や周辺整備の提案などについて、周辺住民の方々の意見を伺いながら進めています。

今後も、未来の子どもや孫たちに、先人の労苦により築かれた武蔵野市を引き継げるよう、市民、市議会、行政が協力し、歴史をつないでまいりたいと考えています。

最後になりましたが、資料の提供、調査にご協力賜りました方々、関係機関、編さん委員会の皆様には厚く御礼申し上げます。

平成二十三年一月

武蔵野市長

邑上守正

## 凡 例

- 一 本書は、武蔵野市百年史記述編の続編として、昭和五八年から平成一七年までの二三年間を対象とした。
- 一 この期は、土屋正忠市長の就任から、六期目半ばで辞任するまでが大半であり、昭和五八年五月から平成一七年一〇月九日までの全体を指すときは「今期」もしくは「この期」とし、状況に応じて「期前半」「期半ば」「期後半」などの表記も用いている。なお、原則として昭和五八年四月以前は「前期」もしくは「前の期」、平成一七年一〇月一〇日以降（邑上守正市長就任後）は「次期」もしくは「次の期」と表記した。
- 一 表記は、原則として常用漢字、現代かなづかいによった。ただし、固有名詞、引用文などは例外とした。
- 一 数字は、表と図を除いて漢数字を使用した。人名の敬称は、原則省略した。
- 一 年号は、元号を用い、各項目の初出の後に原則として西暦を付した。記述の流れによって元号を省略している。
- 一 記述の中に「↓」を多用した。関連する記事などの所在を示している。
- 一 記述の根拠を示す参考文献の書名などには『』を付けた。
- 一 表と図の番号は、それぞれ章番号と節番号の後に節ごとの通し番号を付した。
- 一 執筆に当たっては、市報、市議会報、市議会会議録、市事務報告書、予算・決算関係資料、市勢統計その他関係の資料を数多く参考にしたが、煩を避けて原則としてそのつどは参考資料の表示をしなかった。また、新聞も、「朝日」「毎日」「読売」「東京」「日本経済」「産経」の各紙を参考にしたが同様である。



目次

武蔵野市百年史統編 記述編 昭和五八年～平成一七年

発刊のことは 武蔵野市長 邑上守正

凡例

序章 市政の概況

一 世界と日本、そして武蔵野市	3
二 改革のあらし	5
(一) 難問解決の波	5
(二) 発想の転換	9
三 国を動かす地方自治	13
(一) 地方からの情報発信	13
(二) 市民自治が生きる	17

(三) 生活核都市の未来像は、安全快適なまちづくり……………21

## 第一章 市政の動向

第一節 市勢の変遷……………27

一 土地利用と人口の推移……………27

(一) 地目別面積の推移……………28

(二) 人口および世帯数の推移……………32

(三) 人口構成の推移……………37

二 産業構造と就業構造……………44

(一) 市民の就業構造とその推移……………44

(二) 産業構造の推移……………54

第二節 市の政治・行財政の歩み……………65

一 市政選挙と議会党派の動向……………65

(一) 昭和五八年～平成一七年 市長選・市議選の概説……………65



(1)	昭和五八年の市長選・市議選	68
(2)	昭和六二年の市長選・市議選	70
(3)	平成三年の市長選・市議選	73
(4)	平成七年の市長選・市議選	75
(5)	平成一一年の市長選・市議選	78
(6)	平成一五年の市長選・市議選	81
(二)	市長・助役・収入役	85
(三)	市議会の動き	86
二	高額退職金の是正 全国が注目	95
三	行財政改革	104
四	地方分権への対応(地方自治法改正)	114
五	予算・決算額の推移	118
(一)	一般会計・特別会計予算額の推移	119
(二)	一般会計決算額の概況	119
(三)	特別会計決算額の概況	141
(四)	水道事業会計決算額の概況	148

## 第三節 計画・参加・広報広聴

一 長期計画	152
(一) 第二期長期計画・調整計画	153
(二) 第三期基本構想・長期計画	157
(三) 第四期基本構想・長期計画	163
二 情報公開	168
三 開村一〇〇年記念事業	174
四 市制施行記念事業	178
五 「TAMAらいふ21」・多摩東京移管百周年記念事業	184
六 電算化問題	191
七 広報・広聴	199
(一) 広報	200
(二) 広聴	205
八 名誉市民・荒井源吉元市長の市葬	209

## 第二章 健康・福祉

第一節 健康・医療……………213

一 保健センターオープン……………214

二 財団法人武蔵野健康開発事業団設立……………219

三 武蔵野赤十字病院に市民用ベッド確保……………223

第二節 良福祉・中負担の実践……………227

一 福祉施策……………227

(一) 武蔵野市福祉公社……………230

(二) 武蔵野市民社会福祉協議会……………234

(三) ボランティアセンター武蔵野……………238

二 地域福祉……………241

(一) 地域社協づくり……………243

(二) 向こう三軒両隣の支え合い……………247

三	高齢者福祉	250
(一)	高齢者総合センター	253
(二)	北町高齢者センター	256
(三)	高齢者施設 市内に続々開設	260
(四)	市外の高齢者施設に次々と市民枠	266
(五)	その他の高齢者サービス	269
四	テンミリオンハウス事業	273
五	介護保険制度スタート	285
六	障害者福祉	295
(一)	障害者福祉センター	297
(二)	障害者総合センター	299
(三)	毎日元気に通ってくる	301
(四)	精神障害者の共同作業所	303
(五)	ショートステイ施設	305
(六)	グループホーム	306
(七)	障害者にやさしいまち	308

## 第三章 子ども・教育

### 第一節 学校教育…………… 315

一 市立小学校の改築と統合…………… 315

二 市立中学校の改築…………… 326

三 創立を祝う…………… 333

四 学校施設整備基金の設立…………… 337

五 私立小学校・中学校・高等学校・大学と都立高等学校・専門校…………… 339

### 第二節 教育内容…………… 351

一 義務教育…………… 351

(一) 「ひらめく かんじる かんがえる 楽しい学び舎 土曜学校」…………… 361

(二) 教育再生を目指したセカンドスクール…………… 368

(三) 教育環境の充実…………… 380

(四) 特別支援教育…………… 395

二	地域で育つ子ども	404
(一)	学童クラブ	404
(二)	児童の安全を地域が守る	410
(三)	むさしのジャンボリー	415
(四)	野外活動	421
(五)	児童虐待の防止	431
(六)	地域子ども館「あそべえ」	434
三	豊かな知性を育む	440
(一)	想像力を育てる	442
(二)	体を動かす、さまざまな活動を通して	446
(三)	荣誉に輝く子どもたち	451
第三節	幼児のための施策	463
一	保育園のあり方を考える	463
二	地域に開かれた幼稚園	470
三	全国初、ニュータイプ子育て支援施設	473
(一)	一日二〇〇組の親子がやってくる0123吉祥寺、0123はらっぱ	473

(二) 子育ては楽し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 485

第四節 生涯学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 498

一 生涯学ぶ、考える、行動する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 498

(一) 誇り高き市民の生涯学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 498

(二) 大学と提携して「市民聴講生」制度・・・・・・・・・・・・・・ 499

(三) 語り継ぐ戦争・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 500

二 武蔵野地域自由大学を開学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 506

(一) 高まる生涯学習への意欲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 506

(二) 地域五大学の学長リーグ「武蔵野地域学長懇談会」を結成・・ 508

(三) 「学ぶ楽しさ無限大」武蔵野地域自由大学開学・・・・・・・・ 510

三 大型文化施設の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 512

武蔵野芸能劇場／市民文化会館／市民会館／・・・・・・・・・・・・ 512

武蔵野スイングホール／吉祥寺美術館／松露庵／・・・・・・・・・・ 512

吉祥寺シアター／武蔵野文化事業団発足・・・・・・・・・・・・・・ 512

四 図書館二館の建設とサービスの充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 522

(一) 吉祥寺図書館の新設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 522

	(二)	中央図書館の新築移転……………	527
	(三)	向上する図書館サービス……………	531
	(四)	新しい試み……………	533
	(五)	市民の知的財産を守る―図書交流センターの設立……………	534
	五	「中近東文化センターとの相互協力に関する覚書」締結……………	536
	第五節	武蔵野の文化財、歴史保存……………	540
	一	武蔵野市百年史……………	540
	二	文化財保護……………	546
	(一)	武蔵野市の文化財……………	546
	(二)	歴史資料館の検討……………	555
	三	郷土の歴史に親しむ……………	558
	第四章	緑・環境……………	
	第一節	公園・緑化施策……………	563



一	都立武蔵野中央公園が市民の手へ……………	563
二	増えた公園の緑……………	568
三	減った農地・増やす市民農園……………	576
四	よみがえる水辺……………	580
(一)	玉川上水・千川上水に清流復活……………	580
(二)	神田川……………	586
(三)	仙川……………	589
五	緑のしくみづくり……………	593
六	緑の受賞……………	610
七	青梅市に「武蔵野市民の森」……………	612
八	緑のボランティア団体……………	613
第二節	ごみ・リサイクル・環境問題……………	615
一	クリーンセンター完成……………	615
(一)	市の中心地、市役所の隣接地に……………	615
(二)	クリーンセンター運営協議会の二〇年……………	620
(三)	クリーンセンターの歩み……………	626

## 第五章 市民生活

二	ごみを減らそう！ 再利用で	632
(一)	収集法の移り変わり	632
(二)	ごみの資源化と再利用	636
(三)	ごみのない美しいまちへ	640
三	最終処分場	644
(一)	谷戸沢処分場	644
(二)	二ツ塚処分場	648
(三)	二ツ塚処分場にエコセメント施設完成	652
(四)	し尿処理	657
四	環境問題	659
(一)	環境に優しい市役所の車	659
(二)	活かそう、有限の資源	662
(三)	環境方針決定	667
(四)	環境型住宅と施設	673

第一節 防災・安全	683
一 防災	683
（一） 市民自らの手で	683
（二） 被災地に支援物資・職員派遣	686
（三） 大地震の備え	690
（四） 災害からまちを守る	698
（五） 戦後処理続く	703
二 安全で住みやすいまち	706
（一） 環境浄化市民運動とその成果	706
（二） 犯罪のない明るいまちを	714
第二節 産業・消費	723
一 武蔵野市の産業	723
二 市内の企業の変化	724
三 変貌するまち	726
四 商業地区のコミュニティ	727

五	商工会館オープン	730
六	西久保二・三丁目まちづくり懇談会	732
七	路線商業の活性化	735
八	煙突が消えた	739
九	農業を守る	742
一〇	消費者活動・消費者教育	747
	第三節 真に豊かな市民生活を	751
一	交流事業	751
	(一) 国際化推進のまち	751
	(二) 海外との交流	756
	(1) ジュニア大使友情使節団を米国テキサス州ラボックへ	756
	(2) 青年の翼親善使節団を中国へ	761
	(3) 韓国の二自治体と交流事業	768
	(4) ロシアにハバロフスク交流使節団	773
	(5) ルーマニア・ブラショフ市との交流	782
	(三) 姉妹・友好都市と足りないものを補い合う交流	790

(1)	姉妹都市利賀村との交流……………	790
(2)	姉妹都市豊科町との交流……………	795
(3)	友好都市交流……………	798
①	長野県川上村……………	
②	千葉県白浜町……………	
③	岩手県遠野市……………	
④	新潟県小国町……………	
⑤	広島県大崎町……………	
⑥	山形県酒田市……………	
⑦	鳥取県岩美町……………	
(4)	物産展からアンテナショップへ……………	813
(5)	ふるさととは美しく、武蔵野サミット……………	815
二	市民文化……………	816
三	市民スポーツの振興……………	826
(一)	総合体育館完成……………	826
(二)	財団法人武蔵野スポーツ振興事業団設立……………	834
(三)	市民体育施設の整備……………	839
(四)	スポーツの祭典……………	843
四	コミュニティ……………	850
(一)	コミュニティ市民委員会……………	851
(二)	「コミュニティ条例」施行……………	855
(三)	コミュニティのあり方……………	857

(四) わがまちのコミセン	858
五 女性問題解決のために	865
(一) そもそも婦人問題とは	865
(二) 武蔵野市女性行動計画から男女共同参画計画へ	871
(三) 女性情報誌「まなこ」	877
(四) 女性親善使節をアジアの国々へ	878
(五) 武蔵野市女性史「通史編」「聞き書き集」	881
(六) むさしのヒューマン・ネットワークセンター	883
(七) 「婦団協 四〇年のあゆみ」	884
六 生きがい―仕事・趣味・私の役割	886
(一) もっと仕事したい・中高年採用	886
(二) 仲間づくり上手	889
第六章 都市基盤の整備	
第一節 武蔵野市の都市計画	895

一	用途地域の変更	900
二	道路整備	907
(一)	都市計画道路	907
(二)	都道	912
(三)	市道	916
(四)	区画道路	919
(五)	人によさしいみちづくり	922
(六)	狭あい道路を順次拡幅	924
(七)	東京外郭環状道路の都市計画変更	925
三	J R 連続立体交差事業は、こうして進んだ	927
第二節	三駅周辺が再開発でイメージアップ	943
一	吉祥寺圏の整備・懸案の北口広場が完成	943
二	中央圏の整備・三鷹駅北口周辺	950
三	武蔵境圏の整備・駅周辺	958
(一)	武蔵境駅北口 動き出した北口整備基本計画	958
(二)	武蔵境駅南口 農水省跡地取得と跡地利用施設計画の立案	972

第三節 本市独自の交通対策	984
一 お年寄り、障害者、妊婦さんなど交通弱者のためにコミュニティバス「ムーバス」	984
二 放置自転車対策―ワーストワンの汚名返上	992
三 全国初の違法駐車防止に関する条例の制定	1000
四 交通バリアフリー基本計画	1007
第四節 安全・快適な都市づくり	1015
一 アメニティ	1015
二 建築確認事務	1021
三 高層建築の抑制・宅地開発等指導要綱	1029
（一）『要綱行政が生んだ日照権』を刊行	1029
（二）宅地開発等指導要綱の全文改正	1035
（三）緑町パークタウン	1038
（四）桜堤一団地の建設	1043
四 住宅マスタープラン策定	1047



第五節 水の道、雨を活かせ……………1052

一 上水道……………1052

(一) 「安定供給」を支える深井戸と都からの受水……………1052

(二) 石綿セメント管からダクタイル鑄鉄管へ……………1056

(三) 都営一元化問題に一応の決着……………1059

(四) 通水五〇周年で各種イベント……………1060

(五) 各種合理化で赤字を抑える努力……………1061

二 公共下水道……………1063

(一) 全市域水洗化を達成……………1063

(二) 雨水流抑制施設設置事業……………1064

(三) 雨水浸透施設助成金交付事業……………1065

(四) 下水道使用料の改定……………1068

執筆を終えて

『武蔵野市百年史統編 記述編』担当者一覧

